

平成 29 年度 大阪府立大阪北視覚支援学校 学校協議会 実施報告書

日時	平成 30 年 3 月 1 日 (木) 14 時 06 分～15 時 24 分	
場所	大阪府立大阪北視覚支援学校 校長室	
出席者	委員	[出席] 志方健司 (会長)、生長政彦、猪又則広、藤野高明、柳川敏美、山本利和 [欠席]
	事務局	新開眞琴 (校長)、太田直哉 (教頭)、内田紘允 (教頭) 林幹夫 (首席)、藤原優子 (首席)
議題	(1) 学校生活アンケート 結果と対応について (2) H29 学校経営計画及び学校評価について (3) H30 学校経営計画及び学校評価について	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 学校生活アンケートの結果を提示し、委員より意見を頂戴した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 答えが混乱しそうなものがある。学校全体として防犯ができていないかと聞かれると違う結果になったかもしれない。</li> <li>• 理療科は幼小中高と文化が少し違う。教育内容に満足しているという内容でも、分けて尋ねた方がよいのではないか。その方が学校を適切に表すことになるのではないか。</li> </ul>
	(2) H29 学校経営計画について報告を行い、委員より意見を頂戴した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究授業の回数よりも中身を重視したいが、評価するとなるとどうしても回数になってしまう。評価指標については一考の余地がある。</li> <li>• 研究授業後に、アクティブラーニングで考える事や、ディスカッションの会を充実させることも重要。</li> </ul>
(3) H30 学校経営計画(案)を示し、委員より意見を頂戴した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 盲学校卒業の人を雇い、地域支援をやってもらうことを考えてみたらどうか。後輩の育成にもつながる。</li> <li>• 南北で高め合うことが大切。研究授業を南北でという形でできないか。</li> </ul>	
配布 協議 資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校生活アンケート 結果と対応について</li> <li>• 平成 29 年度学校経営計画及び学校評価</li> <li>• 平成 30 年度学校経営計画及び学校評価</li> <li>• 平成 30 年度より、全府立学校に学校運営協議会を設置します (教育庁作成資料)</li> </ul>	
備考	傍聴者[ 0 ]名	